

# JIS

## 溶接用ステンレス鋼溶加棒, ソリッドワイヤ及び鋼帯

JIS Z 3321 : 2021

(JWES/JSA)

令和 3 年 7 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	秋山 進	元株式会社デンソー（公益社団法人自動車技術会）
	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市川 直樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈良 広一	長野計器株式会社
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	久田 真志	東北大学
	藤本 浩志	早稲田大学
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山田 陽滋	名古屋大学
	和 迹 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 44.2.1 改正：令和 3.7.20

官 報 掲 載 日：令和 3.7.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 品質	2
5.1 寸法及びその許容差並びに製品の状態	2
5.2 化学成分	3
6 試験方法	7
6.1 ロットの決め方	7
6.2 溶加材の分析試験	7
7 検査方法	7
8 製品の呼び方	8
9 表示	8
9.1 製品の表示	8
9.2 包装の表示	9
10 包装	9
11 検査証明書	9
附属書 JA (参考) ISO 14343 System A	10
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	15
解 説	19

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶接協会（JWES）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 3321:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 4 年 7 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS Z 3321:2013** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 溶接用ステンレス鋼溶加棒, ソリッドワイヤ及び鋼帯

## Stainless steel rods, wires and strip electrodes for welding

### 序文

この規格は、2017年に第3版として発行されたISO 14343を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。ISO 14343は、欧州地域で使用する規格と環太平洋地域で使用する規格との共存型であり、いずれかの規格を異なる国際市場に適用して使用してもよいとしている。このため、この規格では環太平洋地域で使用する規格に該当する部分（ISO 14343 System Bに相当）を本体に規定し、欧州地域で使用する規格に該当する部分（ISO 14343 System Aに相当）は、参考として附属書JAに示す。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、ティグ溶接、ミグ溶接、帯状電極肉盛溶接などに用いる、クロム10.5%（質量分率）以上及びニッケル37.0%（質量分率）以下のステンレス鋼溶加棒、ソリッドワイヤ及び鋼帯（以下、溶加材という。）について規定する。

注記1 -196℃における低温じん性をもつ溶加材は、JIS Z 3327に規定されている。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14343:2017, Welding consumables—Wire electrodes, strip electrodes, wires and rods for arc welding of stainless and heat resisting steels—Classification (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法
- JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値
- JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件
- JIS G 1201 鉄及び鋼—分析方法通則
- JIS Z 3001-1 溶接用語—第1部：一般
- JIS Z 3001-2 溶接用語—第2部：溶接方法
- JIS Z 3001-7 溶接用語—第7部：アーク溶接